

『第7期中央区自立支援協議会』

地域移行・地域定着部会
報告書

令和6（2024）年3月

委員名簿

役職	氏名	所属団体
部会長	さいとう えいじ 齋藤 英二	公益社団法人中央区医師会
副部会長	なかの まゆみ 仲野 真由美	NPO法人つつじ 理事長
	むろた かずまさ 室田 和正	中央区精神障害者家族会
	ぬまざき とみお 沼崎 富雄 (R3. 7. 16～R4. 6. 30)	中央区民生・児童委員協議会 日本橋地域障がい福祉部会長
	たなか えいこ 田中 榮子 (R4. 7. 1～R4. 11. 30)	
	おがさわら のぶお 小笠原 宣夫 (R4. 12. 1～)	
	あまの やちよ 天野 八千代	区民公募
	せきづか のりえ 関塚 範枝	区民公募
	どい としこ 土井 敏子	知的障害者生活支援施設 レインボーハウス明石 副施設長
	ひがし こ 東 あい子 (R3. 7. 16～R3. 11. 30)	障害者地域活動支援センター ポケット中央 施設長
	やまざき いっせい 山崎 一成 (R3. 12. 1～)	
	みずはら すすむ 水原 進	精神障害者グループホーム「ホームつつじ」
	かわの ようこ 河野 容子 (R3. 7. 16～R5. 3. 31)	区職員 (日本保健センター健康推進担当係長)
	ふるかわ ゆきこ 古川 由紀子 (R5. 4. 1～)	区職員 (月島保健センター健康推進担当係長)
	あいざき はじめ 相崎 肇 (R3. 7. 16～R5. 3. 31)	区職員 (障害者福祉課相談支援係長)
	りゅう ゆきこ 龍 佑企子 (R5. 4. 1～)	

計16名
(変更5名)

部会のテーマ・検討内容

「地域生活支援拠点について」

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」

【開催日時・議題】

開催回	開催日時	開催場所	議題
第1回	令和3年 7月16日(金)	書面開催	①委嘱状の交付 ②副部会長の選任 ③第6期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画について(報告) ④地域生活支援拠点の現状について ⑤精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて
第2回	令和3年 12月10日(金) 18時～20時	中央区立 福祉センター 会議室	①地域生活支援拠点の現状について ②精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて
第3回	令和4年 1月28日(金)	書面開催	①地域生活支援拠点の取組について ②第7期中央区自立支援協議会地域移行・地域定着部会中間報告書(案)について
第4回	令和4年 7月8日(金) 18時～19時	中央区立 福祉センター 会議室	①中央区障害者計画等の進捗状況について ②地域生活支援拠点の現状について ③精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて ④その他
第5回	令和4年 10月14日(金) 18時～19時	中央区立 福祉センター 会議室	①精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて ②月島三丁目北地区再開発に伴うグループホーム等の整備について ③その他
第6回	令和4年 12月16日(金) 18時～19時	中央区立 福祉センター 会議室	①精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて ②地域生活拠点の取組について ③その他
第7回	令和5年 1月27日(金) 18時～19時	中央区立 福祉センター 会議室	①中央区障害者(児)実態調査について ②地域生活拠点の取組について ③第7期中央区自立支援協議会地域移行・地域定着部会中間報告書(案)について ④その他
第8回	令和5年 7月14日(金) 18時～19時	中央区立 福祉センター 会議室	①中央区障害者計画について ②精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムについて ③その他
第9回	令和5年 10月27日(金) 18時～19時	中央区立 福祉センター 会議室	①第7期中央区自立支援協議会地域移行・地域定着部会中間報告書(案)について ②令和5年度精神障害者地域生活移行支援会議圏域別会議について ③ワーキンググループ第1回活動報告中央区相談支援事業所連絡会(事例検討会)について
第10回	令和6年 1月12日(金) 18時～19時	中央区立 福祉センター 会議室	①地域生活支援拠点の取組について ②ワーキンググループ第2回活動報告 家族会(中央区つつじ会)について ③その他

議事要旨

第1回（令和3年7月16日(金) 書面開催）

議題1「委嘱状の交付」

議題2「副部会長の選任について」

議題3「中央区障害者計画等について」

第6期の策定があったため、地域移行・地域定着に係る取組等を抜粋し、確認を行った。

議題4「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」

今年度、部会員の変更があったため、昨年度までの本部会における協議事項の確認を行った。厚労省から示されている、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの概要および本区の取り組みのロードマップ案について確認した。

議題5「地域生活支援拠点の現状について」

令和2年度に地域生活支援拠点の面的整備型に係る一連の体制整備が図られたものであり、拠点の概要及び中央区障害者福祉計画における位置づけについて改めて確認した。なお、令和3年10月時点で、拠点の登録事業所は14か所となっている。

【書面開催における主な意見】

- ・「精神障害にも」とあえて表現されるように、精神障害の特性を、行政を含め皆が理解して対応することが必要であることを踏まえた取り組みが大切。
- ・コロナ禍で困難だと思うが、ピアサポートについての準備を進めていくことが大切だと思う。どこが主体となり、どのように行っていくかなど、ピアスタッフのサポート体制などを整理した上で進めていく必要があると考える。
- ・拠点については、多機能拠点整備型（グループホームまたは障害者支援施設に併設して機能を付加した拠点）のプランを立てるのが良いのではないかと考える。
- ・登録事業者同士がコミュニケーションをよく取り、実効性のあるネットワークを目指せるよう相互理解が必要だと考える。

第2回（令和3年12月10日(金) 開催）

議題1「地域生活支援拠点の現状について」

令和3年度に新たに地域生活支援拠点登録事業所連絡会を設置した。この連絡会では地域生活支援拠点の体制づくりや運用方法等について情報共有や意見交換、検討等を行うものとしている。

令和3年9月24日に開催した第1回では、地域生活支援拠点の目的と概要を再度確認し、登録している事業所間で意見交換を行った。また、今後の方針として、体験の機会・場の提供の一環として、基幹相談支援センターを中心としたグループホームや就労支援事業所に関する情報集約・共有のあり方について検討予定であることを報告した。

議題2「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」

「精神障害にも対応した地域包括システム」に係る他自治体の取組や中央区における取組状況を確認した上で令和4年度に向けた取り組みの方向性を以下のとおり取りまとめた。

- ①ピアサポーターの活用
 - ・ピアサポートの勉強会や先行実施している事業所への訪問を実施
 - ・ポケット中央における具体的なピアサポートの活用方法を検討
- ②住まいの確保支援
 - ・引き続き、住まい確保支援について検討
 - ・住まいの確保について、当面は現行の相談支援体制で対応
- ③長期入院患者の実態調査
 - ・先行自治体や東京都担当部署へのヒアリングを実施
 - ・訪問調査に向けた病院への働きかけや、対象範囲等を検討

【主な意見】

- ・ピアサポーターについて、他区の見学や勉強会を行う際に部会員として参加したい。
- ・ピアサポーターの中央区での雇用を検討してほしい。
- ・住まいの確保支援について、引き続き検討していくことが必要。
- ・グループホームから一般の賃貸住宅に移行した際、家賃補助制度があると良い。

第3回（令和4年1月28日（金） 書面開催）

議題1「地域生活支援拠点の取組について」

中央区障害者計画において、地域生活支援拠点等の機能の充実のため、年1回以上運用状況の検証等を実施することとしている。検証等については本部会で行うこととしており、については令和3年度の地域生活支援拠点の取組を報告し、確認を行った。

①令和3年度地域生活支援拠点登録事業所連絡会の実施報告

- ・第1回（令和3年9月24日）
- ・第2回（令和4年1月20日）

②体験の機会・場の提供に係る情報提供

体験の機会・場を提供する機能の一環として、体験利用に係る情報収集・共有の方法を検討し、登録事業所間で情報共有を図ることとした。

③次年度の取組

- ・体験の機会・場の提供に係る情報共有の仕組みの検証
- ・緊急時の受け入れを想定した短期入所に係る体験利用の仕組みづくりに向けた検討
- ・月島地域において計画する多機能拠点整備型の整備に係る情報共有

議題2「第7期中央区自立支援協議会地域移行・地域定着部会中間報告書（案）について」

第4回（令和4年7月8日（金） 開催）

議題1「中央区障害者計画等の進捗状況について」

障害者計画第7期に係る実態調査の概要について説明を行った。

【主な意見等】

- ・実態調査の対象者について質問があり、各障害の手帳所持者などから無作為に抽出していることを回答した。
- ・評価の基準について質問があり、現状の実績の数値や担当する所属で判断して評価していることを回答した。

議題2「地域生活支援拠点の現状について」

地域生活支援拠点における体験機会・場の提供に係る情報提供について説明を行った。

【主な意見等】

- ・月島三丁目北地区再開発で予定されている障害者関連施設の受入対象者について質問があり、ピアつきしまの入居者を優先し、その他については検討中であることを回答した。

議題3「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」

ピアサポートの活用として（1）ピアサポートとは（2）他自治体における取組について（3）ピアサポーターの活用に向けた検討等について説明を行った。

【主な意見等】

- ・ピアサポーターについての区の考え方に質問があり、関係機関と連携を進める中で、ロードマップを描いていくと回答した。
- ・長期入院患者の定義について質問があり、1年以上治療の必要もなく入院している人のうち、退院先のない方を対象とする予定であると回答した。
- ・以前行った退院促進事業のデータ活用について質問があり、データの内容を確認した上で検討する旨回答した。
- ・精神障害の場合、医療機関との連携が不可欠であるが、本区に精神科の病床がないのが課題であるとの意見があった。

第5回（令和4年10月14日（金）開催）

議題1「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」

- (1) ピアサポートについて
- (2) 長期入院患者調査について

資料に基づき議題1についての内容と令和4年12月4日（日）に開催予定の公開講座「ピア活動について」の説明を行った。

【主な意見等】

- ・長期入院患者の実態調査の区の考え方に質問があり、他区の状況を参考にして、本人や病院等に負担とならない方法を検討して行くと回答した。

議題2「月島三丁目北地区再開発に伴うグループホーム等の整備について」

整備方針として既存の知的障害者グループホームのピアつきしまの移転改築にあわせ、地域生活支援拠点としての機能等を盛り込んだ複合施設を予定していることを説明した。

【主な意見等】

- ・整備予定の地域生活支援拠点の考え方に質問があり、内容は検討中であるが、面的整備を中心に考えていると回答した。
- ・ピアつきしまと整備される施設の部屋数について質問があり、ピアつきしまは7部屋であるが整備予定の施設の部屋数は検討中であると回答した。
- ・整備予定の施設に勤務する職員の体制について質問があり、民間活力を生かして安定的に運営できる事業者を選定したい旨を回答した。
- ・緊急入所の設置について質問があり、本施設での整備を考えている旨を回答した。
- ・1人暮らしの体験用の居室の障害種別について質問があり、基本的には身体・知的・精神の障害が利用できる予定である旨を回答した。

議題3「その他」

中央区精神障害者退院促進事業について説明した。

【主な意見等】

- ・関係者がかなりの人数で対応したが、調査は大変であった。
- ・本区の障害者に対する社会資源が少ないことに対して入院先の医療機関が不安を持っている。

第6回（令和4年12月16日（金）開催）

議題1「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」

- (1) ピアサポートについて
- (2) 事例検討

資料に基づき議題1（1）についての内容と令和4年12月4日（日）に開催された障害者週間の公開講座の内容・参加者等の意見について委員から説明を行い、その後、議題1（2）について事務局から説明を行った。

【主な意見等】

- ・（2）の事例検討における入所者が茨城県の施設に入っている理由について質問があり、最初は区内や都内で調整したが、強度行動障害があるなどの理由により都外となったことを回答した。
- ・千葉県では圏域ごとにリーダーがいて自治体の相談に応じているが、都には存在しないので、本区から都に提案できないかとの質問があり、本区単独では困難なため、23区が共通認識を持って要望するのが望ましいと回答した。
- ・措置入院等から退院したきた場合など、不安な家族に対する相談先がスムーズに案内できる体制があるとありがたいとの要望があった。

議題2 地域生活支援拠点の取組について

資料に基づき令和4年10月20日(木)に開催された令和4年度地域生活支援拠点登録事業所連絡会の内容を中心に説明を行った。

【主な意見等】

- ・現在のところ地域生活支援拠点体験利用一覧の利用実績がないとのことだが、これからの見通しについて質問があり、今後の地域生活支援拠点登録事業所連絡会の中で検討して行くと回答した。

議題3 「その他」

資料に基づき障害者週間啓発展示について事務局より説明を行った。

【主な意見等】

- ・障害者週間について区民への周知方法について質問があり、区のおしらせや区ホームページで行っていること、啓発展示を区役所本庁舎ロビーを利用しているのは、興味・関心のない方にも広く知ってもらう目的があることを回答した。

【その他】

- ・前回の部会で質問のあった月島三丁目北地区の再開発に伴うグループホームの体験機会・場の部屋の機能に、トイレと風呂の機能を持たせて部屋の中で生活できるようにする予定であると報告した。

第7回(令和5年1月27日(金) 開催)

議題1 「中央区障害者(児)実態調査について」

事務局より配布資料に基づき説明

議題2 「地域生活支援拠点の取組について」

事務局より配布資料に基づき説明

【主な意見等】

- ・レインボーハウス明石の短期入所緊急一時受け入れについて児童が増えているという意見があった。
- ・登録事業所の一覧について取り扱い障害種別が分かるようにしてはどうかという意見があった。

議題3 「第7期中央区自立支援協議会地域移行・地域定着部会中間報告(案)について」

事務局より配布資料に基づき説明

第8回(令和5年7月14日(金) 開催)

議題1 「中央区障害者計画について」

事務局より配布資料に基づき説明

【主な意見等】

- ・委員より地域生活支援拠点の数について発言があり、事務局から現在の地域生活拠点登録事業者数は14あり、月島三丁目に整備中のような多機能型施設が中心になりながら面的整備の中で事業所と連携を図る考えを説明した。
- ・委員より一人暮らしを進めるための補助や手当の支援についての発言があり、事務局から実態調査を行う中で分析を進め検討する旨を説明した。
- ・委員より課題に対する数値目標についての発言があり、事務局から現行の計画目標の進捗状況は昨年度報告しており、今年度の改訂目標値は国の方針等も踏まえて立てていくと説明した。
- ・委員よりヘルパーの育成や質の向上について発言があり、事務局から人材不足は広域的な課題であり育成等は東京都が担う部分であると考え要望を伝えていくとともに区としての対応を検討すると説明した。

議題2「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムについて」

- (1) ワーキンググループの結成について
- (2) 今後の連携について

事務局より配布資料に基づき、「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」について説明し、中央区の実情に合わせた具体的な「にも包括」構築のため相談業務に関わる現場の職員レベルのワーキンググループ結成についての、承認を願った。

【主な意見等】

- ・委員よりそれぞれの機関における連携実績が把握できていないため、実務者レベルの協議体が有効に働きにも包括が形つくられると良いと意見があった。
- ・委員よりワーキンググループの機能について発言があり、事務局から実務者レベルの連携情報蓄積による連携の可視化と地域の強み弱みの洗い出しから中央区の特徴を整理する方法を検討する考えを説明した。
- ・委員よりピアサポートについて発言があり、中央区の実情に合わせたピアサポートの形を、ワーキンググループの中でも検討する考えを説明した。
- ・ワーキンググループの結成及び活動について了承された。

第9回（令和5年10月27日(金)開催）

今回より会議の形式をグループ形式に変更し、議題2、3について各グループで意見交換を行った。

議題1「中央区障害者計画・第7期中央区障害福祉計画・第3期中央区障害児福祉計画の中間のまとめ（案）について」

事務局より配布資料に基づき説明。

議題2「令和5年度精神障害者地域生活移行支援会議圏域別会議について（報告）」

事務局より配布資料に基づき説明。

議題3「ワーキンググループ第1回活動報告中央区相談支援事業所連絡会 第1回事例検討会について」

事務局より配布資料に基づき説明のうえ、各グループで協議を行った。

【協議テーマ】

他区の状況報告を受けて、中央区の現状や中央区版の「にも包括」、地域移行について協議する。

【協議結果発表】

- ・サービスを使わずに地域移行につながる事例がある一方、現行のサービス単価では経営として成り立たないと考える事業者がある。
- ・中央区は夜間対応の精神障害者対応の訪問看護事業所が増加しており、支援体制が整いつつある。
- ・地域生活における身近な組織として町会や自治会の活用ができるのではないかと。
- ・顔が見える場として、家族会の方の意見を聞くような場や、具体的に対象者が地域移行するために必要な支援を考えられる場があると良い。
- ・家族との情報共有の場は重要だが、会議体形式に限らず忌憚なく話し合える場があると良い。
- ・先日行われた健康福祉まつりにてパンフレット配布を行い、家族会の認知度向上に努めた。
- ・今回試みたグループ形式は議論が活発に行われており、この形式はとても良い方法だった。
- ・地域の皆が病院等に関心を持ち、退院できる患者がいる可能性があるということから地域移行を始めるのが良いのではないかと。

第10回（令和6年1月12日（金）開催）

議題1「地域生活支援拠点の取組について」

事務局より配布資料に基づき説明

【主な意見等】

- ・委員よりレインボーハウス明石における短期入所（緊急床）利用の準備ができていない事例について発言があり、事務局より本人や家族の意向による拒否や主治医の不在により障害支援区分取得が進まない事例がある旨を説明した。

議題2「ワーキンググループ第2回活動報告 家族会（中央区つつじ会）について」

事務局より配布資料に基づき説明。その後グループごとに協議、発表を行った。

【協議テーマ】

- ・家族会含む当事者団体や支援団体、その他地域で行われている活動について洗い出し、社会資源として整理する。

【協議結果発表】

- ・区内の社会資源として、家族会（知的・心身・精神）、ダウン症家族会、ツイングクラブなどがある。
- ・当事者の活動の場としては、かえで学級や勝どきダイルーム、ニコニコドットコム等があげられた。また、精神障害の方で、就労支援センターが関わるケースも増えており、直接的ではないが、居場所としての役割も大きくなってきているのではないかと。
- ・精神障害については社会の障害理解が進んでいない部分があるが、その中で、グループホームを利用している方々が、地域のお祭りや新年会、消防訓練などに参加することで地域の理解が進んだケースがあった。
- ・家族会の高齢化が問題になってきており、なかなか若い世代が増えていかない実情がある。様々な世代が自助グループにつながるためには、インターネットや SNS を利用した広報を検討していく必要もあるのではないかと。

議題3「その他 中央区障害者計画・第7期中央区障害福祉計画・第3期中央区障害児福祉計画について」

事務局より配布資料に基づき説明。